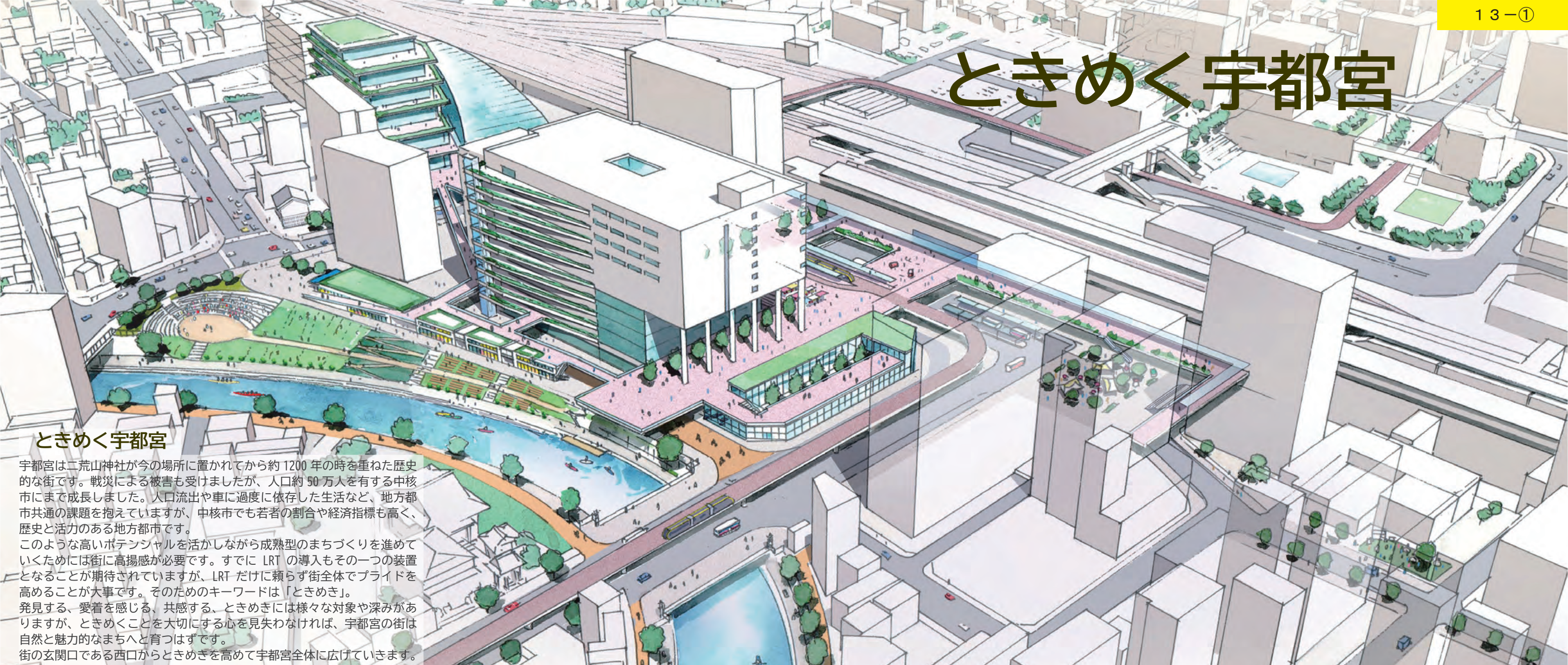


# ときめく宇都宮



## ときめく宇都宮

宇都宮は二荒山神社が今の場所に置かれてから約1200年の時を重ねた歴史のある街です。戦災による被害を受けましたが、人口約90万人を有する中核市にまで成長しました。人口流出や車に過度に依存した生活など、地方都市共通の課題を抱えていますが、中核市でも若者の割合や経済指標も高く、歴史と活力のある地方都市です。

このような高いポテンシャルを活かしながら成熟型のまちづくりを進めていくためには街に高揚感が必要です。すでにLRTの導入もその一つの装置となること期待されていますが、LRTだけに頼らず街全体でプライドを高めることが大事です。そのためのキーワードは「ときめき」。

発見する、愛着を感じる、共感する、ときめきには様々な対象や深みがありますが、ときめくことを大切にすることを失わなければ、宇都宮の街は自然と魅力的なまちへと育つはずです。

街の玄関口である西口からときめきを高めて宇都宮全体に広がっていきます。

## 西口でつくるときめき

- モビリティにより都市機能を更新する**
- ・センターコアと西口とのつながりを広げる
  - ・西口の交通結節機能を強化、再編する

- 街を大きく開いて丁寧につくる**
- ・三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する
  - ・街中に眠るときめき要素を磨く

### ときめく宇都宮へ

駅前いろいろなモビリティが出てきて歩きやすくなったしちょっとした移動も楽になった！車いねな

駅前なのに、田川やそこらじゅうに居心地のいいところがたくさんできた！西口おしゃべり

集まりやすいし、いろいろなイベントもあるから、つい行くけど、そこからまた輪が広がるんだよね！駅前、沼だな

最近人は来るだけじゃなくて、暮らし始める人も増えてびっくりに！確かに居心地よくな

→関係者の共感を育みながらときめきを持続させる

## 宇都宮市街地の読み解き

### 広域にみる位置づけ

関東平野と東北平野の中継地  
江戸時代に江戸との関係が強まる  
北関東の中核市として発展してきた

東京から100km圏というアクセスのよさから企業や工業立地が進み経済圏を形成する一方、少子高齢化や車社会からの転換など地方都市共通の課題を抱える

宇都宮市街地は都市機能が集積する拠点であり、住民・来訪者が集い独自の都市文化を発展させた

**提案のポイント**  
・交通結節機能を活かしながら独自の魅力を発信する都市へ

### 宇都宮市街地の変遷

【～中世】丘陵地や微高地に寺社・城が立地し街が形成

【近世】2つの街道が交わる要所として街が発展

【近代】大通りが開通し骨格ができる駅を中心とした街の核が生じる

【現在】1982年新幹線開業 西口再編により現在の姿に東口に交流拠点施設が開業 街の更新へ

交通機能の見直し 空間再編の必要

【西口の現状の課題】  
・交通結節機能強化  
・滞留空間の不足  
・周辺との関係が希薄  
・風景や文化など宇都宮の魅力を感じにくい

### JR 宇都宮駅西口の提案のポイント

市街地の二つの核の関係からポイントを導く。

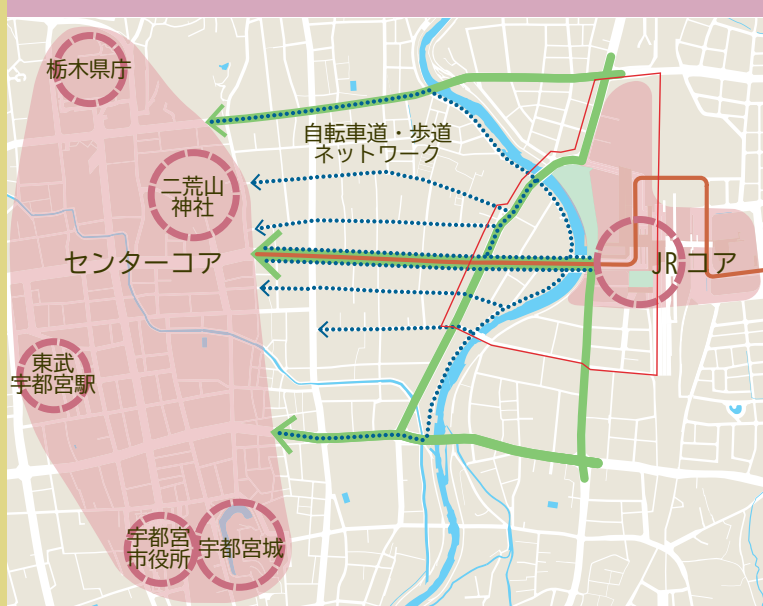
【センターコア】  
・約1200年の歴史・大通りを軸とした明快な道路網  
・庁舎や寺社など都市の中核機能が立地  
・ジャズやカクテルなど都市文化の醸成、発信地

【JRコア】  
・田川の影響を受けた特徴的な街区形成  
・駅/センターコアからの人の流れを受け止める  
・東口の再開発やLRT開通 まちの更新時期

空間提案のポイント  
【対象地区外との関係】  
・センターコアへ導く動線を明確に  
【対象地区】  
・田川を表に  
・周辺の人々を受け入れる滞留空間づくり  
・既存の都市資源を活かす

## モビリティにより都市機能を更新する

### センターコアと西口とのつながりを広げる



### 西口の交通結節機能を強化、再編する



## 街を大きく開いて丁寧につくる

### 三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する(ときめきスクエア)



### 街中に眠るときめき要素を磨く



## ときめきを育てていく仕組み

**ときめきの循環システムを構築**  
3つの機能を有する組織を設立する

まちを描く  
まちを使う  
まちを変える

各機能が適切に働き、循環が生まれる  
**(一社) 宇都宮ときめき推進委員会**

各種団体  
企業A 企業B 企業C ...  
NPO 協議会  
市民 A B C D ...

市民  
ヒアリング ワークショップ  
資金提供依頼 上位計画へ反映  
参画依頼 支援依頼  
企業

**まちを変える**

＜基本方針＞  
・まちの余白をパブリックなスペースにする  
・委員会が運営機能を備えることで活用を促す

土地を市が借用し、委員会が運営  
個人所有の土地を集約し、市民にサービスを提供

個人地主 借地契約 借地料 納税  
敷地管理者 宇都宮市 サービス  
敷地運営者 宇都宮ときめき推進委員会 利用料  
建物所有者 企業等 テナントを利用  
管理者 宇都宮市 賃料 賃料 納税  
運営者 宇都宮ときめき推進委員会 サービス  
個人・団体 利用料 利用申請

**まちを使う**

＜基本方針＞  
・整備前からまちを使って愛着を育む  
・まちの使われ方に応じて新しい使い方を提案

将来を見据えてまちを使う  
再整備が完了する前から市民に対してまちを開くことで再整備の効果をもたせ、宇都宮の未来に對するときめきを生み出す  
例1 LRTのデッキを開放し例2 工事現場を狭く歩行者動線にする  
ビュースポットを設置

使い方を考えていく  
再整備が完了した後は市民生活の変化に合わせて、ハードの使い方を柔軟に変えていくことで、より使いやすい都市に変化する。  
例1 使われない駐車場を例2 使われないバス停をBBQ場や屋台街に無料休憩所に

**スケジュールイメージ**  
構想・計画づくり、先行開発、インフラ整備と段階的にまちづくりを進めて、ときめくまちにしていきたいと思います。

先行開発着手	インフラ整備着手	街開き
LRT 整備計画・設計	工事	試運転 開業
駅前広場地上部デッキ 整備計画・設計	暫定工事	工事 オープン
トナリ工街区 再編整備計画・設計	権利者移転	建物工事 暫定開業 周辺工事 開業
田川パーク 整備構想	廃道社会実験	整備計画 権利者移転 河川改修工事 公園工事 オープン
南側再開発 整備計画設計	工事	再開完了 周辺のまち環境改善
低未利用地 整備計画設計	工事	暫定開業 部分営業 デッキ仮接続 営業範囲拡大 デッキ本接続フル開業
上河原	まち環境改善	まち環境改善 LRT駅開業